

# いきものたちとみる 大山芸術



1.



2.

## 大山忠作 美術館

常設展31期 令和7年 4月2日(水) — 11月30日(日) 会期は臨時に変更する場合があります

■開館時間 9:30~17:00 入館は16:30まで ■休館日 毎週月曜日 祝日の場合は翌日

■観覧料 一般 410(310)円 高校生以下 210(150)円 ( )は20名以上の団体料金/身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は無料

# いきものたちとみる 大山芸術

会期中特別展示予定 / 山口達春《河童の圖》

「いつも自然体でいること。そして描きたいものを描く。描きたいように描く。題材にはこだわらない。そのときのわたしの心の赴くままに描いてきた。」

— 作家特展「1996 CALENDAR」より抜粋 —

日本画家・大山忠作の多岐にわたる題材、モチーフの中から本展では「いきもの」が描かれた作品に焦点をあてます。「鯉の忠作」と称された大山。鯉の形態や微妙な色彩、少年時代の魚釣りや川での思い出が意識の底にあり、画心が動くという。また、5月5日、端午の節句は大山の誕生日。自身の生まれを「鯉との因縁に繋がる」とも述べています。代表的な「鯉」の作品をはじめ、鳥や猫、小動物や伝説上の神獣まで、展示室にいきものたちが集合しました。対象との深い対峙から生まれる多彩なアプローチに大山芸術の世界を感じていただけたら幸いです。ピュアな表情や暮らしの中にも見る彼らの姿、そんないきものたちの息吹が潜む作品に会いにお越しください。



おおやま ちゅうさく oyama chusaku  
大山忠作 1922 - 2009

1922年 5月5日二本松市根崎に出生  
1943年 学徒出陣のため、東京美術学校  
(現東京芸術大学)日本画科繰上卒業  
1946年 台湾から復員後、第2回日展に《O先生》  
を出品し初入選、以来連続入選  
1947年 一采社へ参加  
1952年 第8回日展《池畔に立つ》で初特選  
1968年 第11回日展《岡潔先生像》で  
文部大臣賞受賞  
1973年 第4回日展出品作《五百羅漢》で  
第29回日本芸術院賞受賞  
1980年 成田山新勝寺光輪閣襖絵  
第1期「日月春秋」28面完成  
1986年 日本芸術院会員就任  
1987年 二本松市名誉市民に推戴  
1992年 成田山新勝寺聖徳太子堂壁画  
「白鷺・蓮・桜・牡丹・菊・楓」6面完成  
2005年 日展会長就任  
2006年 文化勲章受章

3. 猫家族 2001年〔寄託〕
4. 孔雀 1968年
5. 春池 1997年
6. あじさいと鳥籠 1968年



3.



6.



4.

## 大山忠作 美術館

〒964-0917 福島県二本松市本町二丁目3番地1 二本松市市民交流センター 3F  
TEL.0243-24-1217 FAX.0243-24-1218 <http://www.nihonmatsu-ed.jp/oyama/>



### 交通案内

JR東北本線：二本松駅下車  
…徒歩3分  
福島交通バス：二本松駅前下車  
…徒歩3分  
東北自動車道：二本松I.C.より  
5分

### 駐車場

二本松市市民交流センター北側の  
立体駐車場をご利用いただけます  
(施設開館時間内に入場の場合  
1時間無料 / 以降1時間100円)



5.